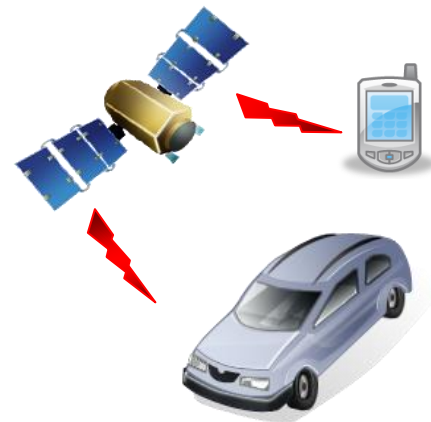


自動運転の将来と課題

2010年にGoogleがクラウドデータサービスと連携した自動運転技術を発表してから、世界中で自動車メーカーやIT企業による研究開発が盛んに行われております。自動車のテクノロジーはここ数年で飛躍的に進歩するはずであり、高度経済成長期のサイエンス・フィクションで2001年に実用化されていると言われていたチューブ内浮遊自動車がいよいよ実現するかもしれません。しかし、このように確実でありながら不確実なものが自動運転です。その実現のためには、ハードウェア、ソフトウェア、インフラ（社会基盤）、法律、運転者（に該当する人）の心理面など様々な側面の整備が必要となっております。そこで今回の技術懇話会では、自動運転を実現するために必要な技術・システムと、その将来および課題について専門家の教員からご紹介をいただきます。是非奮ってご参加ください。



日 時：平成27年1月28日（水） 15:30～19:30

会 場：名古屋工業大学 大学会館1階レストラン（話題提供の部及び技術懇談の部）

【プログラム】

15:30～17:40 《話題提供の部》

挨 拶 セッションコーディネータ 岡本 英二 准教授

- 話題提供1. 光学情報を利用した走行支援技術 坂上 文彦 助教
(キーワード：路面形状強調、光学アクティブセンシング、視覚補助)
- 話題提供2. 電波センシングシステムおよびアンテナ技術 榊原 久二男 教授
(キーワード：自動車レーダ、指向性走査、様々なミリ波アンテナ、アンテナに求められる材料、アンテナ製造技術)
- 話題提供3. 自動運転の実現に必要な無線通信とは 岡本 英二 准教授
(キーワード：低遅延、高信頼、マルチホップ通信、LTE (long term evolution))
- 話題提供4. 自動運転の社会的効率性 秀島 栄三 教授
(キーワード：社会基盤、システムズアナリシス、公共計画)

17:50～19:30 《技術懇談の部》

講師と会食しながら、リラックスした雰囲気での技術懇話会です。

じっくりと時間をかけて、ざっくばらんに話し頂くことで、教員の持つシーズと企業のニーズが繋がってきた実績を持つ会です。情報収集の場としても是非、ご活用下さい！

※本学では、新校舎建設工事の関係で、大幅な車両入構規制が行われています。

ご来場いただく際には、公共の交通機関でお越しいただけますよう、よろしくご配慮の程お願い申し上げます。

【参加申込方法】 会員名(会社名等)、参加者名(所属部門と氏名)、《技術懇談の部》参加の有無、および連絡先(E-Mail アドレス)を記入して、E-Mail または FAX にて 以下までお申込み下さい。

【申込み・問合せ先】 名古屋工業大学研究協力会事務局

E-Mail : kyoryoku-pal@adm.nitech.ac.jp TEL/FAX : 052-735-5538

【参加費】 名工大研究協力会 企業・個人会員：無料 / *非会員：4,000円(消費税込み)

※非会員の方は、《話題提供の部》《技術懇談の部》いずれか一方の参加の場合も 参加費を頂戴いたします。

【主 催】 名古屋工業大学研究協力会 ・名古屋工業大学産学官連携センター

名古屋工業大学への交通アクセス

名古屋駅から、中央本線乗車（6分）→ 鶴舞駅下車（名大病院口から東へ約400m）
地下鉄鶴舞線 鶴舞駅下車（4番出口から東へ約500m）

名古屋工業大学キャンパスマップ



正門前 メイちゃんにお尋ね下さい。



申込書

名古屋工業大学 研究協力会宛

1月28日の第31回技術懇話会に参加します。

会員名(会社名等):

参加者名(所属部門と氏名):

メールアドレス:

お電話:

技術懇談の部: 参加 ・ 不参加 (どちらかに○をつけて下さい)